令和6年度
シラバス

教科・科目	生活産業基礎	単位数	2
-------	--------	-----	---

学年・クラス	2学年（必修・ 選択 ）	担当者	神 菌 岳 志
使用教科書	なし		
使用副教材	生活産業基礎（実教出版）		

目 標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを旨とする。

- 生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指しながら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

授業の内容・進め方

授業内容：（1）生活産業基礎を学ぶにあたって、（2）ライフスタイルの変化と生活産業、（3）ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供、（4）生活産業と職業、（5）職業生活と自己実現、
進め方：調べ学習と実習を中心に進める。また必要に応じて発表やレポートを実施。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	生活産業の種類や特徴を理解し、関連する職業に関わる知識や技能を身に付けている。	生活産業に関連する調査・実習等を通して、生活産業の意義や役割について思考を深めている。	生活産業に関連する職業の種類や特徴について関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	発表資料作成・発表（題材ごと）	○	○	○
	確認テスト（題材ごと適宜）	◎	○	△
	見学・実習態度	○	◎	◎
	授業への参加（通年）	△	△	◎

- ・ **観点別評価** 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。
A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する
- ・ **評価・評定** 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

年間指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	第1章「生活産業基礎」を学ぶ	1節 私たちの生活と「生活産業」 2節「生活産業」のスペシャリストになるために	・近年の社会の変化と産業構造の変化に伴って、働き方やライフスタイルが多様化していること、人々のニーズの変化を的確に捉えた商品・サービスが提供されていることを理解できる。	・生活産業に関連する調査等から情報を整理したり、実習内容について理解したりして、表現することができる。	・生活と産業を結びつけて探求しようとしている。
	5	第2章 生活に対応した商品・サービスの提供	1節 消費者ニーズの把握 2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3節 関連法規	・消費者ニーズを把握するための調査方法や、結果の活用方法を 知る。 ・商品やサービスに関する法規を理解できる。	・論理的に調査方法を選び、活用することができる。	・商品やサービスの企画、開発から販売・提供の仕組みを知り、具体的に商品開発について探求しようとしている。
	6	第3章 食生活関連分野の産業と職業	1節 食生活の変化と生活産業のかかわり 2節 食生活関連産業の職業と資格 ◆メニュー開発 ◆ふれあい交流事業	・外食・中食産業、食品流通業の意義と役割を理解できる。	・現状の献立に課題を持ち、その解決に向けて工夫することができる。	・様々な資格や職業について具体例を通して探求しようとしている。 ・消費者のニーズや消費行動に対応した商品・メニュー開発、販売やサービスの方法について探求しようとしている。
	7	第4章 衣生活関連分野の産業と職業	1節 衣生活の変化と生活産業のかかわり 2節 衣生活関連産業の職業と資格	・人々の意識の多様化により、ファッションが多様化していることを理解できる。	・衣服について考え、まとめたり、発表したりできる。	・様々な資格や職業について具体例を通して探求しようとしている。
	8	第5章 住生活関連分野の産業と職業	1節 住生活の変化と生活産業のかかわり 2節 住生活産業の職業と資格	・住生活に関わる産業の意義と役割を理解し、人々がライフスタイルや価値観に合った住居を求めていることを具体的な事例を通して	・各ライフステージに応じた住居について考え、まとめたり、発表したりできる。 ・動線を考えて平面図を作成し、まとめたり	・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つようとしている。 ・将来の住まい方について探求しようとしている。
9						

			◆インテリアをコーディネートしてみよう	て理解できる。 ・住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解している。	発表したりすることができる。	る。
--	--	--	---------------------	--	----------------	----

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	10	第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業	1章 社会の変化とヒューマンサービス	・ライフスタイルや価値観の多様化によってヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を認識し、意義と役割を理解できる。 ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 ・保育所や幼稚園等での保育実習での注意点を理解し、実際に子どもとふれあったり、子どもの発達の様子について観察したりすることができる。	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ・子どもの生活や遊びについて調査・観察したことをまとめたり発表したりすることができる。	・様々な資格や職業について具体例を通して探求しようとしている。 ・子どもに対するイメージを膨らませ、実践的・体験的な学習を通して、探求しようとしている。 ・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして探求しようとしている。
	11		2章 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格			
	12	第7章 職業生活と自己実現	1節 職業生活と生きがい	・生活産業にかかわる職業人に求められる資質・能力について理解できる。 ・一次産業の役割について理解する。	・見学や体験をとおり、事前に学んだことと結びつけて表現することができる。	・生活産業のスペシャリストとして働くことが自己実現につながっていくことを理解し、探求しようとしている。
	1		2節 将来の生活と学業			
	2					
	3					